

# 社協 だより

令和2年7月1日号 No.123



はんのうふくしの森ピックアップ No.7

## 「移動販売」 (ふくしの森・東吾野)

「カゴ持ちますよ！」



「ふくしの森・東吾野の皆さん」



「移動販売は今日も大盛況」

### 今だからこそ 安心をお届けます！

東吾野地区では、毎月第1、第3金曜日に温かい声かけとともに移動販売車が走っています。

「家まで商品を運んでくれてありがとう！助かるよ」「みんなと会うのが楽しみだよ！」と、地区内の方々が買い物を楽しまれるだけでなく、様々な声が行き交う地域交流の場にもなっています。

この移動販売は東吾野地区住民による「ふくしの森・東吾野」の活動の1つで、地区内を約20カ所回ります。このような活動を通して、地域のつながりを大切に、「ほっこり」した「穏やかな」地域づくりを進めています。

### 活動者からのメッセージ

平成28年の移動販売開始から丸4年が経ちました。高齢者世帯の増加とともに、買い物に不便を感じられている方が少しずつ増加していたため、地域にお住まいの方の生活を支援する目的で始めました。みなさん、買い物はもちろんのこと、集まった方々の様々な声飛び交う明るく楽しい地域交流の場となってきています。新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が自粛となりましたが、私たちは感染症拡大防止に最大限の注意を払い、「このような時こそ地域の皆さんに安心をお届けする」という想いで活動を続けていきます。

### お問い合わせ

【受付先】 ふくしの森ステーションひがしあがの  
(東吾野地区行政センター内)

【在室日】 火～木 午前8時30分から午後5時まで(祝日を除く)

【電話】 070-7792-2436

【FAX】 050-3156-2236

【メール】 station-higasiagano@hannosyakyo.or.jp

※その他、詳細については直接お問い合わせください。





# 「今、わたしたちにできることを！みんなで繋がるふくしの森」

新型コロナウイルス感染症の影響により、市内各地で様々な影響が生じています。飯能市では市民・事業所の皆様と社協職員が連携し、安全対策には十分に注意を払い、三密（密閉・密集・密接）を回避しながら、「今、わたしたちにできる」身近な支え合いのアクションを行ってきました。今号の社協だよりでは「みんなで繋がるふくしの森」と題し、1、2、4ページにて、現在進行中の取組みを含め、具体的な地域での活動の様子を活動参加者の声と共にお届けします。このピンチを乗り越えていきましょう！

## みんなで繋がるふくしの森②

### 外出自粛で会えないなら声でつながろう「電話DEお元気大作戦！」

#### 電話DEお元気大作戦！（以下：大作戦）とは？

新型コロナウイルス感染症拡大により、ふれあいいきいきサロンやふれあい食事会などが開催自粛を余儀なくされ、サロン等の参加者のコミュニケーションの機会が損なわれています。この「大作戦」にご協力いただいたボランティアに、週に1回程度、サロン等の参加者に対して「お元気ですか？」とお電話していただくことで、参加者の安否確認を行うとともに、精神的な不安を解消することを目的として実施しました。（実施期間：4月20日～6月30日）

**お知らせ**

あらから

外出自粛で  
会えないなら  
声でつながろう

**電話DEお元気大作戦!**

実施期間 令和2年4月20日～6月末日まで  
(7月の再開が可能な場合は、総務課の報告あり)

**【電話DEお元気大作戦!とは?】**  
新型コロナウイルス感染症により、市内各サロン・食事会などの開催が自粛となり、参加者のコミュニケーションの機会が損なわれています。この「電話DEお元気大作戦!」は、ボランティアが週に1回程度、参加者に対して「お元気ですか?」とお電話していただくことで、参加者の安否確認を行うとともに、精神的な不安を解消することを目的として実施しました。

**【電話DEお元気大作戦!の目的】**  
新型コロナウイルス感染症により、市内各サロン・食事会などの開催が自粛となり、参加者のコミュニケーションの機会が損なわれています。この「電話DEお元気大作戦!」は、ボランティアが週に1回程度、参加者に対して「お元気ですか?」とお電話していただくことで、参加者の安否確認を行うとともに、精神的な不安を解消することを目的として実施しました。

**【電話DEお元気大作戦!の参加者】**  
市内各サロン・食事会などの参加者です。

**【電話DEお元気大作戦!のボランティア】**  
市内各サロン・食事会などの参加者です。

**本件に関するお問い合わせ**  
社協福祉人 飯能市社会福祉協議会  
TEL: 070-7792-2440  
FAX: 050-3156-2236  
E-mail: station-haraichiba@hannosyakyo.or.jp

本ご協力いただける場合は、こちらまでご連絡ください。

## 大作戦参加団体インタビュー! 「やまびこ会(原市場地区)」

### Q大作戦にご参加された経緯を教えてください

**A**新型コロナウイルス感染症による活動休止期間がいつまで続くかわからない中、やまびこ会は高齢の会員が多いため、①安否や困ったことがないかの確認②ふさぎこむ生活の中での元気づけを通して、再開までの繋がりを保とうと思いました。

### Q電話した際のエピソードがあれば教えてください

**A**“オレオレ詐欺”を警戒して電話に出なかった方も、大作戦の趣旨を説明したところご理解いただき、その後は電話を楽しみにされていました。

### Q大作戦に参加されてみてどうでしたか?

**A**今はメールのやりとりが多くなっていますが、やはり電話による“生の声の温かみ”の重要性を改めて感じました。こういう時だからこそ、お互いに助け合い、励まし合い、寄り添い合うことが地域を守っていくことになると思います。

取材にご協力いただきありがとうございました!



電話をかける青木会長と電話を受ける会員

### やまびこ会について

懐かしの昭和の歌謡曲を中心に、ピアノ、ギターの生伴奏で、上手下手よりも元気に歌おうという“令和の歌声喫茶”です。合間にはティータイムも。毎月1回、夜7時から原市場地区行政センターで開催しています。  
(問合せ：ふくしの森ステーションはらいちば  
☎070-7792-2440 FAX 050-3156-2236  
✉station-haraichiba@hannosyakyo.or.jp)

## 新型コロナウイルス感染症 拡大に伴う事業の変更

### 延期 「第1回はんのうふくしの森 みらいカレッジ」

開催時期を10、11月ごろに延期いたします。開催日程等が決定しましたら、チラシまたは「広報はんのう」でお知らせします。

### 検討中 「ひとり親家庭日帰り旅行」

今年度の実施を検討中です。実施または、実施しないことが決定しましたら、本紙または「広報はんのう」でお知らせします。

## みんなで繋がるふくしの森③

### 「コロナに負けるな! 移動販売実証実験」

社協では新型コロナウイルス感染症の影響により、地域の方々が外出や混雑するスーパーへの買い物を控えているとの声を受け、セブン・イレブン日高下川崎店と連携し、三密を気にせず買い物できるようにと、6月17日より移動販売の実証実験を始めました。実験段階では精明、名栗・原市場、吾野の3コースで実施いたしました。今後の展開に、ぜひ、ご注目ください!



6月18日 名栗・原市場コースの様子

# 令和元年度 飯能市社会福祉協議会 事業報告 (概要)

## 法人運営の取組

### 第3次発展強化計画の策定

サービス向上・広報強化・業務効率化・働きやすい職場づくり等に関する5か年計画を策定しました。

## 地域福祉を進める取組

### 第3次はなのつふくしの森プランの推進

市民会議の開催、ふくしの森サポーター制度の創設、はなのつふくしの森プランポータルサイトの開設等を通じ、目標達成に向け取り組ましました。

### コミュニティソーシャルワーク事業

上記プランに位置づけられた市内13地区に対し8人のコミュニティソーシャルワーカーを配置し、個別ケースの支援を行いました。また地域のサロンや食を通じた居場所、有償の助け合いの団体の立ち上げ支援を行い、地域福祉の充実を図りました。

### 飯能市ボランティアセンターの運営

ボランティアセンター運営委員会と協働し、ボランティア交流会・講座開催、ニーズマッチングに取り組みました。

### 基幹型地域包括支援センターの運営 (飯能市受託事業)

地域型地域包括支援センターの後方支援と総合調整を実施し、困難事例・虐待事例への対応及び支援を行いました。

## その他の取組

### 指定管理事業

総合福祉センター (身体障害者福祉センター、老人福祉センター、児童センター) の管理運営、及び美杉台児童館の管理運営を行いました。

### 介護支援事業

適切かつ質の高い居宅介護支援 (ケアマネジメント) が提供できるよう、介護支援専門員の人材育成を行い、支援を実施しました。

※抜粋

# 令和元年度 飯能市社会福祉協議会 決算報告 (概要) (単位:円)

収入		科目	決算額	支出		科目	決算額
収入	会費収入、寄付金収入	7,074,552	支出	人件費支出	191,092,027		
	経常経費補助金収入	92,630,250		事業費支出	62,264,869		
	受託金収入	129,826,846		事務費支出	12,517,458		
	貸付事業収入	445,000		貸付事業支出	344,000		
	事業収入	3,126,500		共同募金配分金事業費支出	7,592,671		
	介護保険事業収入	23,407,547		助成金支出	3,896,171		
	受取利息配当金収入	8,900,860		その他の支出	2		
	負担金収入、その他の収入	1,066,439		その他の活動による支出	7,931,870		
	その他の活動による収入	8,006,656		当期末支払資金残高	101,554,750		
	基金積立資産取崩収入	4,000,000					
	前期末支払資金残高	108,709,168					
<b>合計</b>	<b>387,193,818</b>	<b>合計</b>	<b>387,193,818</b>				

※事業報告及び決算報告の詳細はホームページに掲載予定です。

## その活動

応援します!

地域福祉活動等  
推進事業補助金  
(下半期実施事業分)

令和2年10月1日〜令和3年3月末日に実施が予定されている事業を募集中!

### ○補助対象事業

- (1) 子育て支援事業
- (2) 障害者の自立支援、社会参加につながる事業
- (3) 高齢者の社会参加、閉じこもり防止につながる事業
- (4) 地域福祉に関する学習、研修会などの事業
- (5) ボランティア活動

### ○補助額

事業費総額の2分の1以下、上限10万円

### ○申請締切日

令和2年8月31日(月)までに所定の申請書にて申請してください。

※その他要件がありますので、詳しくは左記までお問い合わせください。

### ○申請・問い合わせ先

庶務・会計係  
(総合福祉センター1階)



みんなで繋がるふくしの森④

ボランティアさんが作製した



“布マスク”約2,500枚を配布しました。

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、マスクが不足していた3月末から5月中旬にかけて、総合福祉センターに備蓄されていた新品のシーツを使って、「少しでも困っている人たちのお役に立ちたい」という想いを抱いた多くのボランティアのみなさんが“布マスク”を作製してくださいました。

また、自宅で余っていた生地を使ってカラフルな“布マスク”を作製して下さったり、ゴムを提供して下さったり、様々な形で多くのボランティアさんにご協力をいただきました。

完成した約2,500枚の“布マスク”は色も形も様々でまさに「世界にひとつだけのマスク」となりました。

みなさんの気持ちのこもった“布マスク”は市内の小・中学校、福祉事業所や施設等へ関係機関を通じて配布しました。



“布マスク”を受け取られた方々からは、「素敵なマスクをありがとうございます。ボランティアのみなさんの温かいお気持ちに感謝します。」と感謝のメッセージをいただきました。

また、児童センター及び美杉台児童館の主催事業である「3さいルーム」に参加予定の21組のお子さんに、おうち時間を少しでも楽しく安心してすごしていただきたいという願いを込めて、工作セット（塗り絵、折り紙）と“布マスク”をプレゼントしました。



ご協力いただいたボランティアの皆さんありがとうございました。

社協だより配布にあたり、自治会の皆さんにご協力いただきました。ありがとうございました。

飯能市社協のQRコード



問い合わせフォーム



ホームページ



フェイスブック



LINE



YouTube